

この頃の、ちょっとうれしかった出来事

10月1日に運動会がありました。各学年の練習の取組や、本番での頑張りはそれぞれの学年が紹介してくれているのでそちらをご覧ください。

私にはうれしかったことがたくさんありました。2年間できなかった全校での運動会ができたこと。綱引き、大玉送り、騎馬戦、組体操、代表リレーといった種目が2年ぶりにできたこと。感染警戒レベルが6の段階で準備を始めましたから、「レベルがこのままであれば種目変更」といった覚悟をしたり、綱引きは学年ごとにして人と人の間隔を広くとったりと、以前にはなかった苦労もありましたが、終わってみれば過去2年には得られなかったであろう満足感がありました。

加えて、私には全く次元の違ううれしい出来事もありました。それは、閉会式で子どもたちに2学期に校長が投げかけているテーマを尋ねた時、「のびしろ？」と聞いたら、本当に大勢の声で「無限大」と返してくれたことです。4月から「自分から動いていこう」と呼び掛けてきたことを、子どもたちがしっかり受け止めてくれていることを実感し、校長にできることをもっとしていかなければと思った出来事でした。



春からずっと6年生が1年生と遊んでくれています。その姿が何ともあたたかくてうれしいんです。おにごっこをしたり、おんぶをして

もらったり、おしゃべりしたりして楽しく過ごさせてもらう1年生ですが、休み時間が終わるチャイムが鳴ると、すごい勢いで一斉に教室へ戻っていきます。そして、6年生は「ほっ」と息を吐くような、何とも言えない表情をして自分たちも教室へ戻っていきます。その感じがまるでわが子を見守る親のそれと同じように見えるのです。日々のかかわりの中でそんな関係性が生まれてくるのでしょうか。人のことを大事にできるって、大人になってもきっと生きる力ですね。

